

に、若手研究者の更なる飛躍に期待を込めて記念シンポジウムを開催します。山大学の役割を再確認し、博士後期課程修了生を中心とする研究者の学術界への開すると共に、観光学部・研究科における研究を振り返り、今後の観光学研究における日の社会に求められる学術研究のあり方、方向性について、国際的視野を持って2024年、和歌山大学大学院観光学研究科博士後期課程は設置10周年を迎えま

Wakayama University Graduate School of

Tourism

Doctoral Program









社会変革の力としての観光研究

- ◆第1部 基調講演&ディスカッション変容しつづける観光に向き合う
- →基調講演 1

大学と社会をつなぐインパクトある研究活動とは

Prof Graham Miller

NOVA School of Business & Fconomics. 和歌山大学客員教授

→基調講演2

観光と共に生きる:30年にわたる変化をたどって

Prof Hazel Tucker

University of Otago, 和歌山大学観光学部アドバイザー

→ ディスカッション

和歌山大学、観光研究への期待

司会: Prof Adam Doering 和歌山大学観光学部

パネラー: Prof Graham Miller

Prof Hazel Tucker

会場

和歌山大学

E1-101 教室 和歌山県和歌山市栄谷 930

参加申込方法

右の QR コードより 参加申込用フォー



→ 第 2 部 ゲスト講演&パネルディスカッション
変動する社会に向き合う研究活動とは

→ゲスト講演

脱領域の旅ー社会に活きる知としての観光研究

富永 京子

立命館大学産業社会学部現代社会学科

→ パネルディスカッション

亦某のカレけ 芋手延空老の俎占から

司会: 遠藤 理一 和歌山大学観光学語

一: 竹田 茉耶 大阪観光一: 禁田 香織 白鴎大学

問由 光 泊土田学院士学

引合先

和歌山大学大学院 観光学研究科 Tel: 073-457-8547 E-Mail: kanijmu@ml.wakayama-u.ac.ip

主催 国立大学法人 和歌山大学

10 Oct.

2024

Sat.

13:00 - 17:00